

【障害者週間】 東欧音楽家支援 東日本大震災チャリティーコンサート
日本・ポーランド・ブルガリア文化交流演奏会
〈ポーランド独立回復100周年記念〉〈ブルガリア独立140周年記念〉

東京
芸術
劇場

国際親善交流 特別演奏会

International Music Festival 31st

2018.10.17 水

開演 18:30 (開場18:00)

全席指定 S: ¥6,000 A: ¥5,000 B: ¥4,000

東京芸術劇場コンサートホール (池袋西口)

東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111 (代)

6:30 p.m. WEDNESDAY, OCTOBER 17, 2018, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

Program

モーツァルト作曲:フルート協奏曲 第1番 ト長調 K.313

フルート:アグニェシュカ・バルトシェヴィチ

MOZART: FLUTE CONCERTO No.1 IN G MAJOR, K.313

Flute: AGNIESZKA BARTOSZEWICZ

シューマン作曲:ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

ピアノ:サヴァ・ウトフ

SCHUMANN: PIANO CONCERTO IN A MINOR, Op.54

Piano: SAVA VUTOV

— 休憩 (INTERMISSION) —

ブラームス作曲:交響曲 第1番 ハ短調 作品68

BRAHMS: SYMPHONY No.1 IN C MINOR, Op.68

演奏

モーツァルト・ヴィルトゥオーソ祝祭管弦楽団

Mozart Virtuoso Festival Orchestra

Piano ピアノ

サヴァ・ウトフ

Sava Vutov

Flute フルード

アグニェシュカ・バルトシェヴィチ

Agnieszka Bartoszewicz

及川光悦 指揮

Mitsuyoshi Oikawa Conductor

お問い合わせ・チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325

主催:国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL/FAX 03-3442-2325

後援:外務省・文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ポーランド共和国大使館・ポーランド広報文化センター・ブルガリア共和国大使館・朝日新聞社・TOKYO FM

特別協賛: meiji株式会社 明治

協賛: Etsu 信越化学工業株式会社・みずほ証券株式会社・三菱電機株式会社・協和発酵キリン株式会社

協力: サッポロビール株式会社・日本コカ・コーラ株式会社・メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

※障害者、養護施設、母子家庭、高齢者、大震災避難者の方々を御招待致します。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

出演者プロフィール

指揮 及川光悦

Mitsuyoshi Oikawa Conductor



1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を得ず。1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルボー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故郷城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。

同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。
1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオペラ座、パイロイト音楽祭、ペローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈的歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11-PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもと「文化使節」として公演し好評を得ず。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「ウェブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティヌーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故郷田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団」（旧モスクワ放送交響楽団）、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリフィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ベトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランス・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家同士の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノクシンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を得ず。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満教子女士と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。2011年10月、ポーランド（ビドゴシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。2014年7月、ルーマニア政府より「文化功績勲章」を受章

Flute フルート



アグニェシュカ・バルトシェヴィチ
Agnieszka Bartoszewicz

1985年ワルシャワ生まれのフルート奏者。

フレデリック・ショパン音楽大学のフルート科でエルジュビエタ・ダスティフ＝シュワルツ教授に師事、2009年に首席で卒業。

フルートをPhilippe Bernold, Janos Balint, Meinhart Niedermayr, Ljubisa Jovanovic, Federica Lotti, Per Oen, Pierre Wavreに師事。

ソリストとしては2004年、ワルシャワの国立フィルハーモニーでデビュー。曲目はモーツァルトのフルートとハーブのための協奏曲ハ長調 K.299であった。その後国内外でソリスト・室内演奏家として活躍。2008年から2010年には第一フルート奏者としてポーランドのSinfonia Iuventusオーケストラに在籍。積極的に活動の幅を広げ、これまでにシンフォニア・ワルソヴィア、ポーランド放送管弦楽団、トルン・シンフォニックオーケストラ、ヴロツワフ・シンフォニックオーケストラ、ヴロツワフ室内楽団Leopoldium、シンフォニア Viva、ルトスワフスキ青少年管弦楽団、ショパン・アカデミア管弦楽団ほかと共演。2013年からビドゴシチのオペラ・ノヴァでソリストとして活躍。2017年、ビドゴシチのフェリス・ノヴォヴィエスキ音楽大学大学院に入学。

- 受賞歴
- ・2007年 第7回若手演奏家のための20・21世紀音楽コンクール（ワルシャワ、ラジェヨヴィツェ）：第1位
 - ・2004年、2002年 春のフルートフェスティバル（ポーランド・ソハチェフ）：第1位
 - ・2004年 木管専攻の学生のためのコンペティション（ビドゴシチ）：第2位
 - ・2001年、2000年、1999年 若手音楽家コンクール：第2位
 - ・2000年、1999年 木管専攻学生コンペティション（ワルシャワ）：第1位

Piano ピアノ



サヴァ・ヴトフ
Sava Vutov

1994年、ブルガリア・ソフィア生まれ。

ソフィアにある国立音楽学校「リュボミール・ピブコフ」を卒業、アレクサンダー・ヴァシレンコ助教授にピアノを学ぶ。

現在は、ボリスラヴァ・タネヴァ教授の下、ソフィアにある国立音楽アカデミー「パンチョ・ヴラディグロフ」でピアノの修士課程に在籍している。サヴァはブルガリアをはじめ、セルビア、F.Y.R.マケドニア、イタリアそしてイギリスなどの、様々な国際ピアノコンテストで受賞している。2016年には、第8回アカデミック・ピアノコンテスト「ネノ・プロコフィエフ」におけるS-プロコフィエフのパフォーマンスで、大賞を受賞した。

有名な音楽フェスティバルに招待されて演奏することも多く、ソフィアで新年に開催された「新年音楽フェスティバル」や、現代ピアノ音楽のソフィア国際フェスティバル「ppiANISSIMO FESTIVAL」、そして国際音楽フェスティバル「Music Weeks in Sofia」などでパフォーマンスを行ってきた。

国内外において、数多くのマスタークラスに精力的に参加しており、またブルガリア、ギリシャ、イギリス、スペインなどでソロ・リサイタルを行ってきた。

サヴァ・ヴトフは現在、弦楽オーケストラ「ソフィア・ソリスト」、ベルニクの室内オーケストラ「オルフェス」、アテネ交響楽団、ヴィディン交響楽団、ラスグラード交響楽団、ソフィアのアカデミック交響楽団、そして同じくソフィアの学生アカデミー弦楽オーケストラのソリストである。長年にわたり、プラメン・ジュロフ教授、ゲオルギ・チムシロフ教授、イヴァイロ・クリンチェフ教授、コンスタンティン・イリエヴスキ、ライチョ・フリストフなどの指揮者とともに活動していた。

またサヴァは、楽器、合唱、映画音楽の作曲家でもある。

2017年9月からは、ソフィアの国立音楽学校「リュボミール・ピブコフ」の招聘を受け、同校でピアノを教えている。